ユニクラット
No.305
民主主義学生同盟大阪市立大学支部機関紙 9/18

全ての民主的学友は民学同に結集しよう！

ベトナム反戦勝利 安保破棄 沖縄返還 佐藤内閣打倒

10.21教養ストー大学祭成功に向け

本日の代議員会で強固な意志統一を！

代議員会の意義と任務

本日の代議員会の意義と任務は、我々が九月当初から一貫して主張してきたように、基本的に次の三つの任務を担っている。第一に、ベトナム反戦勝利、安保破棄、沖縄返還、佐藤内閣打倒をめざし、10・21国際連帯統一行動を教養スト、シニア授業放棄で斗う意志統一をすることであり、第二に、未だ統一した大学祭実行委員会が選出されておらず、大学祭の準備が遅れている。これを早急に克服する意志統一をかちとること。第三に、10・21斗争、及び大学祭と続く自治会活動を進める中で、市大自治会の統一した大衆的民主的再建をかちとることが要請されていることである。

10・21国際連帯統一行動、大学祭の圧倒的成功のために

秋の斗いの頂点である10・21斗争は、すでに総評百万労働者が斗いを決定し、原水禁・全国反戦等を含む諸民主団体も取り組みを始めている。今秋の斗いは巨大な規模で胎動を開始している。三年目を迎える10・21斗争は、その意義を激動する世界情勢の科学的分析の中に求めねばならない。ベトナムをめぐる情勢は、明確に最終局面を迎えつつある。南ベトナム解放民族戦線の斗いと、それを支える社会主義世界体制を先頭とする全世界の労働者階級、世界平和勢力の斗いの前進は、ベトナム反戦斗争勝利・北爆全面停止、米軍撤退をかちとることが我々の現実的課題となっていることを示している。また、この秋は、安保破棄、非武装中立をめざす斗いの重要性が高まっていることを示している。安保破棄の斗いは、日帝の犯罪性を、代々木理論＝宿命的階級同盟論によって隠ぺいし、70年代安保斗争を体制打倒の斗争とし、反独占民主主義斗争としての規定から踏みはずれ、構改派からトロツキストに転落した共産党諸君のいうような内容では決してない。安保破棄をめざす斗いは、70年代の日本の進路をめぐる斗いであり、それを通じて非武装中立をかちとり、アジアの平和共存をうちたてる重要な環である。更に11月予定の沖縄首脳会談に向け、自原公安勝利、沖縄返還をかち、統一行動、来賓闘をめざし、佐藤内閣打倒を明確に掲げて斗わなければならない！

10・21斗争をかちとるにあたって、次に確認しなければならないのは、自治会の統一した運動が展開しえない現在、10・21斗争を斗う中で市大自治会の大衆的民主的再建をかちとることである。又、市大のみならず、10・21斗争を全国全自治会の共同斗争とするために、10月上旬関西自治会代表者会議を開いて、全関西の統一した運動を早期にかちとり、市大自治会はわれわれに積極的に関西代を招請しよう。全クラスに直ちに10・21クラス実行委員会を設置してクラスでの運動を準備しよう。

（ウラへ）